

# 【R7年度】重点目標の取組・概要（ゆめみヶ丘岸和田における企業誘致[丘陵地区整備事業]）

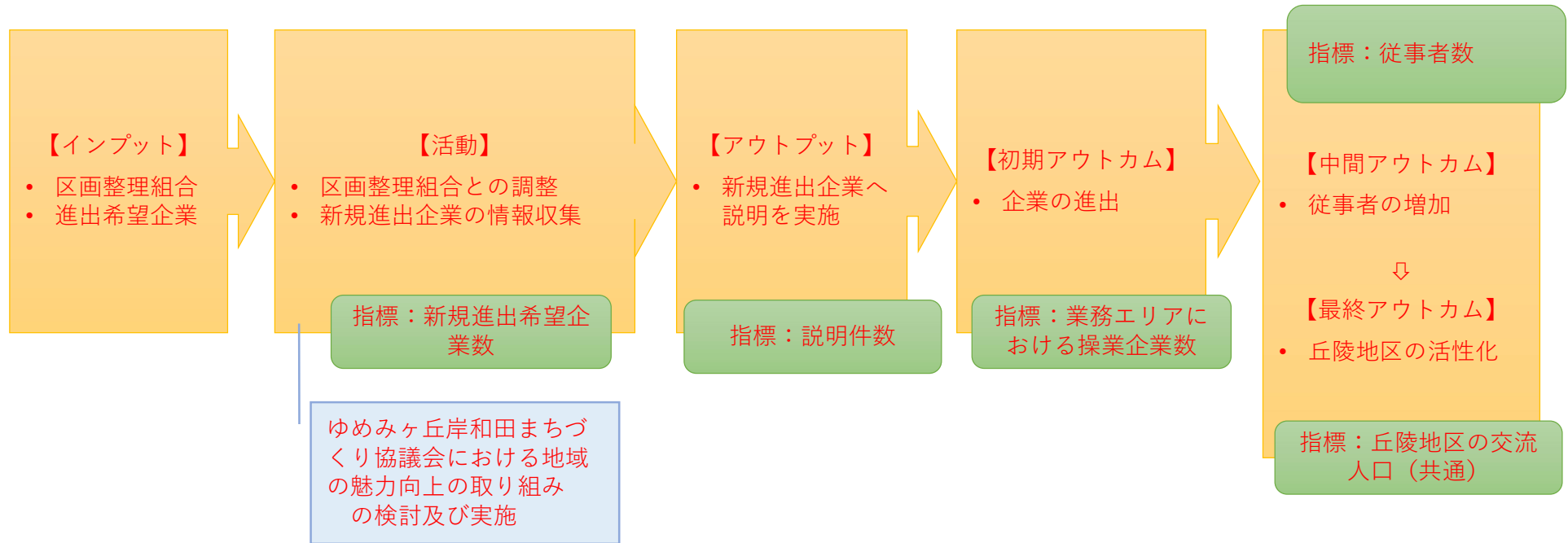
担当課（内線）	都市整備課（3126）	重点目標の方向性	泉州山手線沿道を中心とした拠点形成とアクセス性の向上
重点目標	経済・交流が活発な岸和田の実現	行政の役割	地域の活性化につながる新たな拠点の整備を進める

現状と課題	課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>ゆめみヶ丘岸和田の新たな企業誘致の促進と企業の定着促進を図るための企業支援が求められている</li> </ul>	<p>【中期的(4～5年後)にめざす成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆめみヶ丘岸和田において、企業誘致が進むとともに、丘陵地区の利便性の向上や地域・企業の活性化が進められ、働く場としての丘陵地区の魅力が向上している状態をめざす。</li> </ul> <p>【成果に向けての各年度の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R7以降 進出企業への説明等の実施 産業集積拠点（業務エリア）に対する助成金制度の情報提供を実施</li> </ul> <p>【R7年度の取組内容（期間・対象者・手法など）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前述のとおり</li> </ul>
R7年度の事業費（内訳）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>産業集積拠点（業務エリア）に対する助成金 132,929千円 →産業政策課予算</li> </ul>	

R8年度以降の想定事業費（ランニング経費）	取組の進捗・成果を測る指標	成果・指標が未達成の場合の取扱い
<ul style="list-style-type: none"> <li>産業集積拠点に対する助成制度（おおむね10年） →産業政策課</li> </ul>	<p>業務エリアにおける操業企業数 (2023→2025) 23社→28社</p>	<p>※必ず縮小・廃止時期を記載すること</p> <p>岸和田市丘陵土地区画整理組合の事業期間による</p>

# 【R7年度】重点目標のロジックモデル（ゆめみヶ丘岸和田における企業誘致[丘陵地区整備事業]）

## ロジックモデル【事業立案時点】



財源	他団体の状況	その他（行政サービスとしての適正性について など）
		区画整理組合と連携した取組

■ 中期的にめざす成果に対する達成度



- ゆめみヶ丘岸和田において、企業誘致が進むとともに、丘陵地区の利便性の向上や地域・企業の活性化が進められ、働く場としての丘陵地区の魅力が向上している状態をめざす。

■ R7年度において実施・実現できたこと

- 業務エリアの企業誘致が完了
- 企業への助成金の交付
- まちづくり協議会への参画

■ R7年度における達成度（当初の実施予定に対する達成度）



- 進出企業への説明等の実施
- 産業集積拠点（業務エリア）に対する助成金制度の情報提供を実施

■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指標名	単位	基準値（年次）	目標値（年次）	R7年度実績値
○	業務エリアにおける操業企業数	社	23（2023）	28（2025）	25
-	新規進出希望企業数	社			

## ■ R7年度において実施・実現できなかったこと

- 建設資材の高騰や不足などの影響により進出企業の経営計画の見直しや建築工事が遅延し、操業までに至らない企業があった。

## ■ 課題分析

- 物価・賃金高騰による企業の経営計画の見直し
- 建設資材不足による建築工事の遅延

## ■ ロジックモデルの振り返り

- アウトプットの効果があり、着実にアウトカムの発現が進んだ。
- 生活利便エリアにおける新規進出企業の募集は随時実施しており、交渉中の箇所もあるが決定には至っていない。

## ■ 次年度以降の予定・改善内容

- 区画整理組合とともに生活利便エリアへの企業誘致を行うことにより、丘陵地区の交流人口の増加をめざす。
- 新規進出企業の協議会参画について、まちづくり協議会事務局より説明を行う。